仏語学仏文学専攻

1．専修科目，授業科目，単位数，担当者及び授業内容

※　担当者氏名前の〇印は，令和７年度の学生募集担当者を表します。

専修科目	授業科目	単位数	担当者	授業内容
仏文学	仏文学演習Ⅱ	4又は8	准教授 博士（文学） 〇井関　麻帆	【春季入学試験のみ募集】 18世紀フランス文学。ルソーを中心とする啓蒙思想家の作品を分析する。フランス革命へと向かう激動の時代に執筆された文学作品から，個人主義的・自由主義的な思想について考察する。
	仏文学特殊講義Ⅱa	2		
	仏文学特殊講義Ⅱb	2		
	仏文学演習Ⅲ	4又は8	准教授 博士 （フランス文学） 〇村石　麻子	現代フランス文学・ケベック文学，及び比較文学。マルグリット・デュラス，ロマン・ギャリを中心に小説作品の分析を通じて，現代社会と現代文学の諸問題（信仰とユーモア，歴史の記憶，自伝的小説など）への作家各々のアプローチを考察している。また芥川や三島など日本文学との比較研究も行っている。
	仏文学特殊講義Ⅲa	2		
	仏文学特殊講義Ⅲb	2		
	仏文学特殊講義Ⅴa	2	准教授 博士 （文学･言語･ｽﾍﾟｸﾀﾙ） 小池　美穂	16 世紀フランス文学。フランソワ・ラブレー，モンテーニュを通して「学問」を主題に作品を分析。当時の学問の状態はどのようであったのか。16 世紀の社会（知的層の世界），そして政治（宗教戦争）を踏まえながら,「学問」と「笑い」や「学問」と「社会」の関連性を研究します。
	仏文学特殊講義Ⅴb	2		
	ヨーロッパ学演習Ⅱ	4又は8	教授 博士（文学） 〇鈴木　隆美	19 世紀後半から 20 世紀初頭のフランス文学（特にバレス，ユイスマンス，プルースト，ヴァレリー）におけるイデアリスム研究。特に音楽，舞踏，建築といったイメージ群と恋愛表象の関係について分析し，主体生成の諸問題について考察している。またそこで得た知見をもとに，恋愛に関する日仏比較文化研究も行っている。
	ヨーロッパ学特殊講義Ⅱa	2		
	ヨーロッパ学特殊講義Ⅱb	2		
仏語学	仏語学演習Ⅰ	4又は8	教授 博士 （言語文化学） 〇山本　大地	仏語学（フランス語学）とはフランス語を対象とした言語学である。言語学とは言葉の規則性・法則性を見出し，その仕組みを解明することを目指す学問分野である。言語学には音韻論，形態論，統語論，意味論，語用論等いくつかの下位分野が存在するが，主に意味論・語用論を対象とする。現在の研究テーマは形容詞，間投詞，感嘆文，多義性等，用例観察とインフォーマント調査に基づき仮説を立て，一般化を試みる。
	仏語学特殊講義Ⅰa	2		
	仏語学特殊講義Ⅰb	2		
	仏語学演習Ⅱ	4又は8	教授 博士（言語学） 〇川島浩一郎	現代フランス語を対象に，言語研究（音韻論，形態論，統辞論，意味論，語用論など）の基本的な考え方や方法について，実践的に検討する。各自の研究テーマに関して，とくに機能言語学的な観点から具体的なデータの収集，記述，分析を行い，抽象的な存在である「ラング」の抽出を試みる。
	仏語学特殊講義Ⅱa	2		
	仏語学特殊講義Ⅱb	2		

その他の科目（担当者未定科目）

授業科目	単位数	授業科目	単位数
仏語学特殊講義Ⅲ a	2	仏文学特殊講義Ⅰa	2
仏語学特殊講義Ⅲ b	2	仏文学特殊講義Ⅰb	2
仏語学特殊講義Ⅳ a	2	仏文学特殊講義Ⅵa	2
仏語学特殊講義Ⅳ b	2	仏文学特殊講義Ⅵb	2
仏語学演習Ⅲ	4又は8	仏文学特別講義Ⅰ	2
仏語学演習Ⅳ	4又は8	仏文学特別講義Ⅱ	2
仏語学特殊講義Ⅰ	2	仏文学演習Ⅰ	4又は8
仏語学特殊講義Ⅱ	2	仏文学演習Ⅴ	4又は8
		仏文学演習Ⅵ	4又は8

2．履修方法

① 学生の標準修業年限は2年とし，所定の授業科目について，合計32単位以上を修得しなければならない。

② 授業科目のうちから，一つの特殊講義及び演習を選定し，これをその学生の専修科目とする。

③ 専修科目の演習担当者を指導教員とし，授業科目の選択，学位論文の作成，その他研究一般について，その指導を受けなければならない。

④ 専修科目の演習8単位及び講義4単位，合計12単位を必修科目として履修し，その他の授業科目のうちから20単位以上を選択科目として履修しなければならない。

⑤ 専修科目の演習は2年間8単位の履修を原則とするが，専修科目としない演習は，選択科目として1年間4単位の履修を認めることがある。

⑥ 指導教員が当該学生の研究上特に必要と認めた場合は，第4項の規定にかかわらず，他の専攻博士課程前期の授業科目を，8単位を限度に選択科目として履修することができる。

⑦ 修士の学位論文は，専修科目について提出するものとする。

※昼夜開講制について

仏語学仏文学専攻では，働きながら大学院で学ぶことを希望する社会人の学修を容易にするために，昼夜開講制を導入しています（ただし，秋季入学試験受験者のみを対象とします）。本専攻を志願し，夜間の受講を希望される方は，出願の前に大学院事務課（人文科学研究科担当）へお問い合わせください。